

## 株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る  
郵便番号600-8652**「京銀輝く未来応援ファンド2号」第6号案件への投資について  
～無線給電システムの開発・製造を行う「株式会社 Space Power Technologies」へ投資～**

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2019年2月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合（略称：京銀未来ファンド2号）」は、第6号投資案件として、「株式会社 Space Power Technologies」へ投資いたしました。

「株式会社 Space Power Technologies」は、宇宙空間に設置した太陽光発電設備で発電したエネルギーを、マイクロ波に変換して地上に送電するという技術的知見をもとに、マイクロ波による高効率な無線給電システムを開発・製造する京都大学発のベンチャー企業です。同社の技術が実用化されれば、携帯端末やIoTセンサー等に対して、離れた場所から無線で給電できるようになり、充電や電池交換等の作業が不要になる等、エネルギー利用の利便性向上が期待されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、幅広いステージの企業を積極的に支援し、今後もさらなる地域経済の活性化と地域創生に貢献してまいります。

## 記

## 1. 投資先概要

企業名	株式会社 Space Power Technologies
代表者	代表取締役 古川 実
本社所在地	京都市西京区御陵大原1番36号京大桂ベンチャープラザ北館
設立	2019年5月
事業内容	マイクロ波による高効率な無線給電システムの開発・製造

## 2. 投資額

10,800,000円

### 3. 投資について

京都大学生存圏研究所 篠原 真毅教授の研究（宇宙太陽発電所およびマイクロ波エネルギー伝送（マイクロ波送電）等）で培われた知見を基に、マイクロ波による高効率な無線給電システムを開発・製造する「株式会社 Space Power Technologies」に、IoTセンサーをはじめとする様々な機器向け無線給電システムの実用化に向けた資金として投資を行う。

※無線給電とは

コンセントなど有線を用いず、電波を用いて電力を供給すること。マイクロ波を用いることで、数m以上の距離でも無線での給電が可能となる。

### 4. 京銀輝く未来応援ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	10億円
当行出資額	9億90百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上